

近畿・四国

◇ 大阪支社 ◇
大阪市中央区淡路町 3-2-8
トア第2ビル5F
☎06(6231)8036
FAX06(6231)8039

小学校にLPガスGHP

災害への強さ決め手に



辻本典生支部長

す。市教育委員会は「LPガスの災害への強さを踏まえてGHPを採用した」としている。

阪合部小はLPガスを理科室や湯沸かしのほか、ガスファンヒーターによる暖房に使用しているが、GHPの逆転導入の決定は新規需要の創出につながる。供給形態は50kg容量18本。支部内で3年ごとに供給事業者を抽選して決めLPガスを供給する。同校は来年4月に他の小学校と統廃合され、施設は認定こども園と地域の公民館を兼ねた施設として利用されるが、引き続きLPガスGHPを活用する。

供給している。移転工事中の市立養護老人ホーム「花咲寮」の建て替え時には災害対応バルクを設置する予定。風呂、厨房への供給や炊き出しもできる施設とし、避難所機能の強化に貢献する。

「市には災対バルクを設置した市総合体育館の備えに可搬式LPガス発電機を寄贈したことなどを始め、LPガスの災害対応力を理解いただいている」と辻本支部長。

「建て替え計画のある市庁舎近くの避難所にも災対バルクの導入を働きかけ、市が進める安心のまちづくりに貢献したい」と意欲を語る。

EHP計画を逆転 奈良県協五條



市は「五條市学校適正化計画」に則り学校施設の充実を図っている。快既に空調整備を完了した中学校とともに小学校の空調化を進めている。小学校全8校の空調整備は当初EHPで計画されていたが、五條支部の働きかけで阪合部小はLPガスGHPに逆転した。

辻本支部長は「昨年11月、全国LPガス協会が全国の市町村に発送した公立小中学校へのGHPエアコン導入促進に関するお願い文書を契機に要望活動を強めた」と話

五條支部は小中学校の暖房を含め給食センターや公民館、集会所など50以上の物件にLPガスを

五條市（太田好紀市長）は8月末、阪合部（さかあいべ）小学校の普通教室にアイシン精機製のLPガス仕様GHP3台、計36馬力を導入する。LPガス供給は奈良県LPガス協会五條支部（辻本典生支部長）が行う。

五條市立阪合部小学校。8月末にLPガス仕様GHP計36馬力を導入する